

第54回 日本PTA中国ブロック研究大会 やまぐち大会



国宝瑠璃光寺五重塔



サビエル記念聖堂



SLやまぐち号

ごあいさつ

日本PTA中国ブロック研究大会やまぐち大会を開催するにあたり、多くの皆様にご参加いただきたく、一言ご挨拶申し上げます。PTAという組織が誕生して半世紀以上が過ぎましたが、かつてないほどにその存在意義が揺らいでいます。これまで、我々の父母世代を超えた経験や地域特有の知恵、学校内外の安全や先生方との信頼など、つむぎあげられてきたものは数知れません。時代の流れと共に、子どもたちの学ぶ環境や学校と地域との関係性、先生の働き方についても大きな変革の波が来ています。それに加えて、今回のコロナ禍を経て継続が難しくなっている組織もあります。

今回のやまぐち大会では、過去からつむぎあげられてきた様々な遺産を確認し、新しい未来に向けた活動として皆様と再確認できる場に、また子どもたちの未来を少しでも輝かしいものにするために支え合い、交流できる大会にしたいと考えております。

開催地の山口は、室町時代に隆盛を誇った大内氏が築いた西京文化が息づき、明治維新胎動の地でもあり歴史にも彩られた魅力ある地です。この地で皆様とお目にかかれることを楽しみにしております。

大会趣旨

世界的パンデミックにより、世の中は大きく変化しました。新しい生活様式が提唱され、子どもたちの学校生活やPTA活動においても「今まで通り」が通じなくなりました。対面でのコミュニケーションの考え方が変化し、オンラインでのコミュニケーション手法が導入されるなど、時代の進化を実感する反面、子ども・保護者・教職員などの関係性は以前よりも希薄になってしまったことは否めません。

われわれの目的は、「家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与すること」です。PTA活動は「子どもたちのため」であり、「社会貢献」であることを自覚した上で、今一度、これまでの当たり前を見つめ直し、時代に即した方法を模索しながら、より良い活動を未来のためにつなぎ続けていくことが求められていると考えます。

本大会のスローガンは『つむぐ～未来(これから)の大人たちへ～』とさせていただきます。「紡ぐ」という言葉は本来、繊維を引き出し、縀り(より)をかけて糸を作るという意味ですが、現代ではそこから転じて「思いを紡ぐ」「人を紡ぐ」「未来を紡ぐ」のように何かと何かを結びつけるという意味で用いられています。

本大会は未曾有の災禍を経た今だからこそ、過去からつむがれてきた歴史を、より良くした上で未来に託していくこと。学校行事やPTA活動を通じて、保護者と教職員の絆がつむがれていくこと。そして何より子どもたちを想う気持ちがつむがれていくことを願っています。つむがれた思いや絆は、必ず未来(これから)のためになると信じています。

■ 大会スローガン



つむぐ
これから
未来の大人たちへ

大会要項

開催日 令和6年11月2日(土) オンライン参加も可能です

■会場 / KDDI維新ホール

■参加対象 / 中国ブロック各県・市PTA協議会(連合会)の会員並びに教育関係者 1,500名

■参加費 / 2,000円 ※昼食弁当は別途実費1,000円(税込)

当日スケジュール

12:00	12:45	13:00	13:40	14:40	14:50	16:20	16:30	16:40
受付	OP (15分)	開会式 (40分)	実践発表 (60分)	休憩 (10分)	記念講演 (90分)	次期 開催地 PR (10分)	閉会式 (10分)	

実践発表 | 13:40-14:40

山口市徳地地区PTA

6校の絆!

～心を紡いだ 徳地の地から～

■徳地中、中央小、島地小、八坂小、串小、袖野木小 ※串小、袖野木小は令和6年3月閉校

山口市小郡地区PTA

熟議が生みだす地域協働のマインド

～山口県の陸の玄関口 小郡発! 地域とつながる課題への挑戦～

■小郡中、小郡小、上郷小、小郡南小

萩市立萩東中学校PTA

地域とともに進める学校づくり

～萩東中学校PTAの取り組み～

記念講演 | 14:50-16:20



「出張! ゴルゴ塾 命の授業」

タレント、講演家

ゴルゴ松本氏 (ワタナベエンターテインメント所属)

◎1967年4月17日生まれ(57歳)

◎出身地: 埼玉県花園町(現深谷市)

1994年にレッド吉田とお笑いコンビ「TIM」を結成。2011年から少年院でボランティア講演の活動をスタート。その活動が各種テレビ番組、その他新聞や雑誌で取り上げられ大きな反響を生む。「命」など漢字を体で表現するギャグでおなじみのゴルゴ松本氏が、漢字の話、歴史の話など、笑いを交えながら「命」「言葉」「人生」「日本人」をテーマに、魂のこもった熱い授業を展開する。